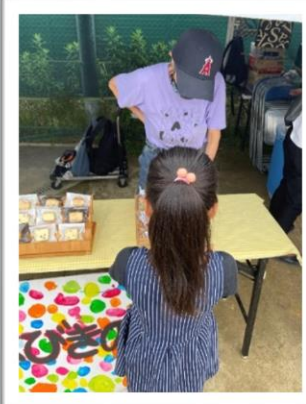


ふたかみ NEWS プチトマト

たかわしこども まつり



6月2日に「たかわしこどもまつり」に参加してきました。高鷲学園・保育園の子ども達だけでなく地域の子どもさんにも待ちに待ったお祭り。はびきの園はお菓子の千本引き、自主製品のクッキーとパウンドケーキを出店しました。千本引きは子供達にも大人気。用意していたお菓子もすぐに無くなり、お菓子を買い足して対応。販売員で参加した奥長さん、翼さんも大忙しでしたが、笑顔いっぱいの日でした。(大伴)

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



大阪公立大学の学生さんと交流会をしました！



5月10日と31日に環境と食農の技術センターにて、公立大学の学生と園芸活動を通しての交流会がありました。10日はマリーゴールドの苗植えなど、31日はプランターの寄せ植えと野菜の収穫をしました。

新型コロナの影響で数年ぶりでしたが、たくさんのなかまや学生の皆さんの笑顔が見られた楽しい時間でした。ありがとうございました！(田邊朋)

cafeハピバール

6月の予定

定休日 毎週水曜/日曜

休み 13日(土)・15日(月)
27日(土)



★Instagram★
[cafe-hapibar.com](https://www.instagram.com/cafe-hapibar.com)

お問い合わせ先
072-958-3232

☆販売について

夏期の販売はお休みとなります。

次回再開は、

ぶどうの家：10月28日(月)

青山ケアセンター：11月26日(火)

となります♪

■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

2024年5月

- ・丹羽久子 下原保 西原俊子 松永匠 鎌田修 森義彦 清水一 福井良蔵 佐野省三 三宅渡 片田登志子 荻野松子 上峠通男 畑英作 塩野貴司 安井敏雄 重信豊和 樽井義憲 上戸将博 那須勝行 梁誠一 平岡俊雄 山本和美 寺村美知子 細川直幸
-以上5口
- ・田中健
-以上3口
- ・城裕久子 山口元子 出口哲史 戸田奈保 土井寛子 谷口美喜子 内海秀樹 宮崎孝代
-以上1口

■寄付 田中健様 古川量子様

■アルミ缶回収(5月分)992kg

ありがとうございます。

◆2024年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口3,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894

5月11日の大阪支部総会に続き、29日に大田区産業プラザで行われた全国総会に参加してきました。全国各地から集まった方で会場は埋め尽くされ、久しぶりの懐かしい顔が沢山ありました。それでもコロナの影響なのか、普段よりも少し人数が少ないような気がしました。

2代目の理事長の立岡眺さんが挨拶の中で「今運動が特に大切で、他の分野と共に高めようが必要だ」と話されていた事が印象に残っています。また石川県JCT支援センターの本田事務局長から震災支援に対してのお礼がありました。このセンターには「障害者」も「被災者」の文字も入っていません。支える人を隔てないという強い意志を感じました。

全体討議でも多くの方が発言を行い、午後からの分散会でも当事者の発言が多くありました。運動も事業もなまの想いを出発点にして、それを叶えるためにどうしていくかを皆で考えるところがきょうされんらしく思いました。ま

た、「福祉を充実させる事は人権を大切にすることで、それが平和を作っていくんだ」という発言がありました。私たちが運動の中で求めている福祉予算は欧米並みのGDP比2%です。それに対して日本の防衛費はその2%に達していません。武装合戦で相手を威圧して平和を手に入れるのではなく、福祉を高めよう事で皆の平和を作る事ができるのではないかという発言でした。

私たちの福祉実践で障害のあるなかま達やその関係者の生活を守り、まだまだ未完成な日本の人権を更に高めていく事ができるのではないかと思えます。それが様々な人たちと繋がる事で障害にとどまらず広範な人たちのそれへとつながっていく可能性もあります。いろんな人たちと繋がりがながら、積極的に運動を進めていこうと思えます。そんな未来を作っていく事の出来る場所に自分が身を置いている事をワクワクしながら確認の出来た総会でした。(関口こ)

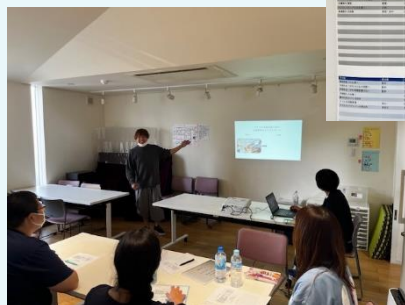
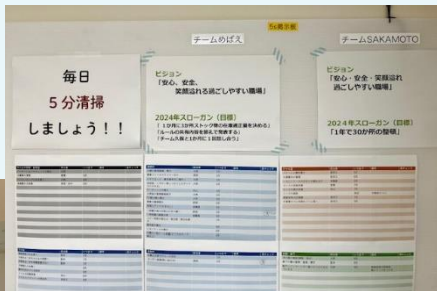
2022年1月より講師の上石先生に毎月来てもらい始まった5S研修。

5Sとは『整理』『整頓』『清掃』『しつけ』の5つのSから始まる言葉の総称で製造業やサービス業で活用されています。

1年間のスローガンや目標を決め、不要なモノを捨てることから行い、整理↓整頓と進め、リバウンドすることのないように物の定位置を決め標示し職員全員で共有しました。物の適正量や発注点を決めどの職員でも気付けるルール作りも行っていました。研修の度にBefore→Afterの写真やどれだけ効率



が上がったかななどの報告書を作成し発表することにより着実に活動を進めていくことができたかなと思います。施設全体が片付いていき掃除もしやすくなった職員ひとりひとりの意識も変わりました。これからもこの活動を続けながら仲間も職員も安心して過ごせる職場づくりを目指していきたいです。(向山)



国会請願署名に行っていました

5月30日に東京の衆議院・参議院会館に第47次国会請願署名を持っていきました。当日は全国から福祉職員やなかまが集まり、皆さんが協力して集めてくださった署名を国会議員に届けました。順番を決めて、国会議員の人に時間を取ってもらい私たちの思いを伝える時間を作ってもらいました。皆さん真剣に話を聞いてくれました。その中でもその場で署名を預かってくれた議員、党の方針で確認してから連絡しますと返事があった議員と様々でしたが、皆さんが頑張って集めた署名は国会に持って行ってもらうことができました！第47次国会請願署名にご協力ありがとうございました。第48次国会請願署名もご協力よろしく願います。(波多江ひ)



『支援者の想像力が次の行動を左右する』

●災害時に障害のある人の命と暮らしを守るために福祉施設職員がすべきこと

【BCP 計画の策定と平常時から】職員一人一人が意識すること何か？

5月25日(土)、岩手県にある社会福祉法人ひまわり会すてっぷ・小山貴氏を講師としてお迎えし、法人研修が行われました。BCPとは災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画のことです。東日本大震災から丸13年が経過した現在の、岩手県の障害福祉関連事業や作業所の状況、当時の気持ちや体験談を時系列に沿ってお話して下さいました。

災害を経験していない私は、研修資料や日常的に流れてくるニュースから全てをイメージする事は難しく、今までは『起らなければいい』『大丈夫だろう』とどこか他人事で、震災の話は自分にはあまり関係のない話なのだろうと感じていたような気がします。しかし、この度の小山氏のお話は、被

災経験者としてだけでなく、同じ障害福祉に携わる職員としての言葉で、体験談を自分に置き換えて聞くことで自分事として捉えることが出来ました。

特に印象に残っているのが、『支援対象者への想像力が次の行動を左右する』というお話です。有事の際は仲間の為にと思っていても、いざその時に自分には何ができるのか？『仲間の為に』からもう一歩踏み込み、普段の様子から仲間が何を考え、どのような行動に出るかをイメージする事が重要なのだと学びました。いつ起こるか分からない災害に備え、水や食料などの備蓄の確認、避難訓練や災害派遣に参加された方の話を聞き知識を増やすなど、今までの実践の振り返りと共に、自分が今できる事に真摯に向き合っていきたいと思えます。

午後からは小山氏が登場人物のモデルにもなっている「星に語って」の上映会が行われました。

いつもの日常が失われ、今まで出来ていたことが急に出来なくなったり、昨日までいた仲間が居な

くなったことを受け入れられない様子、不自由な暮らしを経て、居なくなったことを徐々に受け入れることが出来るようになった『仲間の心の変化』が描かれたシーンを見て、嬉しくなりました。

障害福祉という仕事は正解のない仕事ですが、変化を一番身近で感じる事が出来るのも私たちです。仲間の命や何気ない日常を守る為に、職員一人ひとりが防災に関して意識して行動していければいいと思います。(松田)

